



2026年3月17日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾
(TEL. 03-6262-6105)

**宇宙戦略基金 第二期「衛星データ利用システム実装加速化事業
(B) 海外における衛星データ利用システム等の開発・実証、社会実装基盤整備
(委託)」採択のお知らせ**

当社は、連結子会社の株式会社アクセルスペース、一般社団法人クロスユー（代表理事：中須賀 真一、以下「クロスユー」）、株式会社Double Feather Partners（CEO：武藤 康平、以下「DFP」）、および合同会社ENKOPA Lab（CEO：ローランド ベルナルド、以下「ENKOPA Lab」）の4団体が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が推進する宇宙戦略基金事業第二期の技術開発テーマ「衛星データ利用システム実装加速化事業」に、採択されましたことをお知らせいたします。株式会社アクセルスペースは本件において、連携機関として衛星データや利活用技術の提供を担当します。

記

1. 宇宙戦略基金事業の概要

宇宙戦略基金事業はJAXAに設置された基金を活用し、産学官連携による宇宙技術の研究開発・社会実装を複数年度にわたり支援する制度です。内閣府主導のもと関係府省が連携し、宇宙分野の戦略的技術開発を推進しています。

2. 本事業の概要（予定）

- ・ 配分機関：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ・ 技術開発テーマ：衛星データ利用システム実装加速化事業
- ・ 技術開発実施内容：（B）海外における衛星データ利用システム等の開発・実証、社会実装基盤整備（委託）
- ・ 技術開発課題：日本発の衛星データ利用共通基盤を活用したアフリカ社会課題解決手法の確立

- ・代表機関：一般社団法人クロスユー
- ・連携機関：
株式会社アクセルスペース
株式会社Double Feather Partners
合同会社ENKOPA Lab
- ・支援額：3億円以下 ^{*1}
- ・事業期間：最長5年 ^{*2}

注記

1. 事業期間を通じた支援規模の総額。今後ステージゲート審査等により変動する可能性があります。
2. 支援開始後2年目を目途にステージゲート評価が実施され、その結果によっては、それ以降の所要の事業期間分（最長3年程度）の支援を受けることが可能となります。

3. 今後の見通し

株式会社アクセルスペースは連携機関として、今後数カ月を目途に、代表機関との間で委託契約を締結予定であり、現時点において受領金額は未確定です。当委託契約を締結することを決定した際には、詳細を速やかに開示する予定です。

なお、本件は2025年8月13日に発表いたしました2026年5月期の業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。なお、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

案件の詳細につきましては、本日発表のプレスリリースおよび宇宙戦略基金のウェブサイトをご参照ください。

クロスユーら4団体の共同提案が宇宙戦略基金事業に採択
日本発の衛星データ×金融スキームによるアフリカの社会課題解決へ
―自立的な現地エコシステム構築し、日アフリカ双方の相互発展を目指す―
(2026年3月17日付公表)

https://www.axelspace.com/ja/news/spacestrategyfund_africa/

JAXAウェブサイト「宇宙戦略基金 衛星等（第二期）衛星データ利用システム実装加速化事業」

https://fund.jaxa.jp/techlist/theme2_22/

以上